

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2021/10/25号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

乱高下も高値更新が続く

NY原油先物相場は、1バレル=83ドル台後半まで値上がりする展開になった。短期的な過熱感から持高調整の動きも強く、一時80.78ドルまで急落する場面も見られるなど、値動きは不安定化した。しかし、需給ひっ迫化に対する警戒感を背景とした買い圧力は維持され、乱高下しながらも高値更新サイクルを維持した。2014年10月以来の高値を更新している。

特に目新しい材料がみられた訳ではないが、北半球の気温が本格的に低下し始める中、冬季の需給ひっ迫リスクの織り込みが優勢になっている。中国政府が石炭需給・価格に対する介入姿勢を示したことで、石炭相場は急落している。しかし、欧州やアジアの液化天然ガス (LNG) 価格の高騰が続いているため、原油に対する需要シフトの思惑が強く、原油相場も押し目買い優勢の展開が維持されている。世界的な株高傾向、為替市場でドルが軟化したこともポジティブ材料視されている。特に期近限月の上げ幅の大きさが目立った。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (10月15日時点) は、原油が前週比43万バレル減、ガソリンが537万バレル減、石油精製品が391万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需給ひっ迫で85ドル突破へ、ボラティリティは高めか

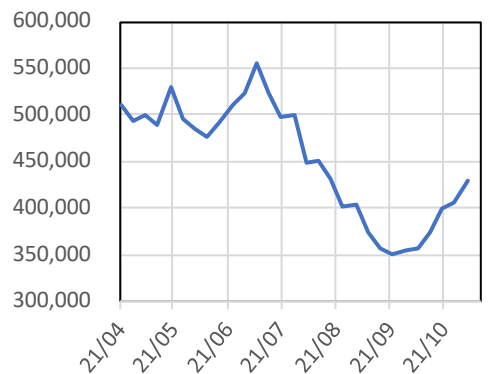
冬季の需給ひっ迫見通しが維持され易く、基調は強い。新型コロナウイルスの感染収束傾向、LNGからの需要シフトの見方、冬の需要期到来を受けて、需要拡大に対する信頼感は強い。一方で、石油輸出国機構（OPEC）プラスの積極的な増産対応は想定しづらく、米国のシェールオイルの増産ペースも抑制されている。年末に向けて在庫取り崩しが進むとの見方が、原油相場を押し上げる展開が続こう。85.00ドルの節目を完全に突破する可能性も十分にある。ただ、過熱感は依然として強いため、前週と同様に利食い売りも入り易く、高めのボラティリティを想定しておく必要がある。

11月4日にOPECプラスの閣僚級会合を控えているため、産油国の動向には注意が必要。かりに消費国の増産要請に対して前向きな動きがみられるか、イベントリスクとしての警戒感が高まると、利食い売りが膨らむ可能性はある。しかし、現状ではOPECプラスは政策調整の必要性について懐疑的であり、そもそもナイジェリアやアンゴラなどは増産能力の欠如が問題視されている。OPECプラスの政策調整は困難との見方が維持されると、上値追いの展開になり易い。

米国では石油リグ稼働数の増加傾向が続いている。ただ、未完工油井（DUC）の稼働によってかなり強引に産油量押し上げを目指している状況に留まっている。米エネルギー情報局（EIA）の推計では、11月もタイトオイルは日量7.7万バレルの増産に留まる見通し。

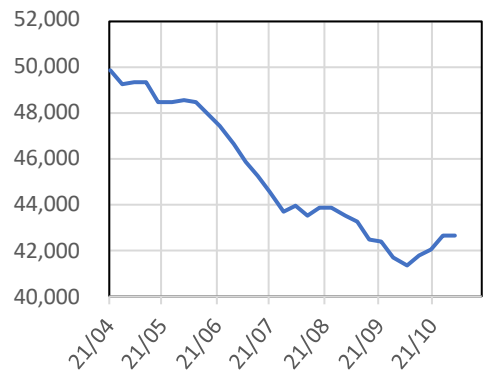
中国政府が石炭市場に対する介入姿勢を強めており、エネルギー危機に対する警戒感が後退すると、利食い売りが膨らむ可能性は想定したい。大きなイベントは予定されていないが、27日に発表される米週間需給統計にも注目したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



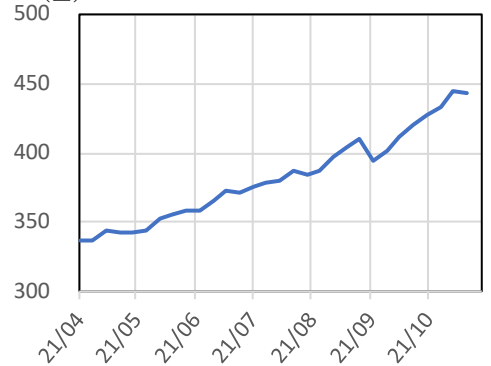
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

